

2009 フランクフルト・モーターショー BMW の展示(概要)



BMW は、誇りを持って皆様に、駆けぬける歓びの未来の姿をご紹介します。燃料消費量と排出ガス量を共に削減しつつ、走行性能とパフォーマンスをこれまで以上に高めるための革新—これが 2009 年フランクフルト・モーターショーで新装なったフェア・ホール 11 に出展する BMW のテーマです。

世界で最も大きな成功をおさめたプレミアム・カー・メーカーである BMW は、BMW エフィシエント・ダイナミクス (BMW EfficientDynamics) という開発戦略を掲げています。BMW はこの戦略に従い、わずか 2 世代のモデル・チェンジの間に、ヨーロッパ全体に供給する BMW 車両の燃料消費量と CO₂ 排出量を 25% 以上も削減し、同時に BMW ならではの駆けぬける歓びをこれまで以上に高い水準へと引き上げることに成功しました。

2009 年 9 月 15 日～27 日まで開催されるフランクフルト・モーターショーにおいて、BMW は各種のニュー・モデルと共に将来を視野に入れたコンセプト・カーを出展し、未来に向けたクルマ作りに求められるさまざまな装備品や機能、テクノロジーのすべてをご紹介します。

BMW エフィシエント・ダイナミクスが生み出したさまざまなテクノロジーは、すでに BMW が導入しているニュー・モデルに標準装備され、今後数十年にわたってより少ない排出ガスでより大きな駆けぬける歓びを提供するための多彩な革新的技術の基礎を構築しています。例えば、今回の 2009 年フランクフルト・モーターショーで世界初公開となるコンセプト・カー「BMW Vision EfficientDynamics (BMW ビジョン・エフィシエント・ダイナミクス)」は、この開発戦略の目標と可能性を 1 台のクルマに凝縮して明示したものです。実際にこのコンセプト・カーでは、従来を上回る効率的な手法によってエネルギー消費量と CO₂ 排出量を共に削減させ、化石燃料を一滴も使わない非常にクリーンな走りを体験することができます。しかも、これらと同時に、純然たるスポーツ・カーのパフォーマンスを余すところなく発揮します。

この卓越したコンセプト・カーには、高度なエネルギー・マネジメントによって優れた効率性を実現する内燃式エンジン、革新的な蓄電技術を採用した BMW のアクティブ・ハイブリッド・テクノロジー、インテリジェント・ライトウェイト・テクノロジー、エアロダイナミクスの最適化に至るまで、BMW エフィシエント・ダイナミクスによってこれまで生み出してきたテクノロジーのすべてが盛り込まれています。

BMW エフィシエント・ダイナミクスによるこうした数多くのテクノロジーは、さまざまな組み合わせで現行の市販モデルに搭載されています。そして今回のフランクフルト・モーターショーでは、BMW 初の市販型ハイブリッド・カーを世界に向けて公

開します。例えばラグジュアリー・セダンの「BMW アクティブ・ハイブリッド 7 (BMW ActiveHybrid 7)」およびスポーツ・アクティビティ・クーペの「BMW アクティブ・ハイブリッド X6 (BMW ActiveHybrid X6)」は、それぞれのモデル専用開発した内燃式エンジンと電気モーターの組み合わせによる駆動システムを搭載し、いずれも比類ない走りと傑出した効率性を兼ね備えたモデルとなっています。

また、BMW の最高の駆けぬける歓びを体験するための、時代を先取りする革新的なモデルをさらに 2 種類、世界に向けて初めて公開します。そのひとつが BMW X1 です。このクルマは、BMW X モデルのさまざまな特徴やキャラクターをユニークな手法で採り入れた初のプレミアム・コンパクト・セグメント・モデルとなります。もうひとつの BMW 5 シリーズ グランツーリスモは、広々とした贅沢な空間と優れた機能性に、スタイリッシュでエレガントな外観を一体化したモデルです。

新しい展示場、フェア・ホール 11: 駆けぬける歓びのまたとない舞台

2009 年フランクフルト・モーターショーの BMW は、これまでにない展示スタイルとなり、より印象深いスタイルで駆けぬける歓びというテーマを皆様にご紹介します。ニュー・モデルは、展示区画全体を取り囲む全長数百メートルのサーキットというアクティブな走りをイメージさせる環境の中で皆様にご覧いただきます。このような舞台を整えることで、新しく登場したモデルのデザインと実際に走る姿を、ご来場の皆様に体験していただくことができるようにしています。

駆けぬける歓びをこのようなユニークな手法でご紹介できるのは、BMW の新たな展示会場となったフェア・ホール 11 だけです。この新しい建物は、モーターショー会場の正面入口からも近い位置にあります。ヨーロッパで最新のこの展示ホールの 1 階に、BMW グループは 1 万 2 千平方メートルの区域を確保し、世界をリードするモーターショーで初めて、BMW、MINI、ロールス・ロイスの 3 ブランド合同展示のための施設を設けました。

BMW グループでは、この 3 ブランド合同による展示会場でさまざまな催し物を開催します。そのひとつが ZEIT カンファレンスです。BMW グループは、持続可能性 (サステナビリティ) をはじめ、これからの社会に重要な意味を持つ話題を議論するための場として、この展示会場を提供します。フェア・ホール 11 の隣で行われるジュニア・キャンパスでは、フランクフルト・モーターショーに訪れた 3 歳～13 歳の子どもたちに、モビリティやサステナビリティの持つ魅力的な世界を発見する機会を提供します。

BMW Vision EfficientDynamics:

効率性と駆けぬける歓びの未来を追究したコンセプト・カー

BMW では、今回のモーターショーのコンセプト・カーとして「BMW Vision EfficientDynamics」を出展します。このコンセプト・カーは、BMW のエフィシエント・ダイナミクス開発戦略の目指す目標が、将来の自動車に求められる燃費および排出ガスに関するさらに厳しい基準もクリアできることを証明する一台です。

フル・ハイブリッド・テクノロジーを搭載したプラグイン式自動車として考案されたこの 2+2 シーター・モデルは、現行の最新型スモール・カーよりもさらに少ない燃料消費量と排出ガスを達成しながらも、BMW の M モデルのパフォーマンスを発揮するための条件をすべて備えています。

BMW Vision EfficientDynamics は、あらゆる面からのアプローチによるオールラウンドな開発の成果です。これは、このコンセプト・カーの強く情感に訴える外観からもしっかりとわかります。卓越した効率性と完全に調和する駆けぬける歓び、このコンセプトの未来に向けた魅力的なビジョン（展望）を示すスポーツ・カーです。

BMW Vision EfficientDynamics は、最高速度 250 km/h（電子制御リミッター）を達成。0-100 km/h 発進加速性能は 4.8 秒をマークします。EU テスト・サイクルによる平均燃料消費量は 100km 走行あたり 3.76 リッターで、CO₂ 排出量は 1km 走行あたりわずか 99 グラムです。

プラグイン接続部経由でコンセントからバッテリーを充電し、電気モーターのみで走行すると CO₂ バランスはさらに向上します。電力を生成する際に排出される CO₂ の量を考慮しても、このコンセプト・カーの CO₂ 排出量は 50 グラムです。

電気モードで走行しているときの CO₂ 排出量を比較可能な形で測定するため、現在、ハイブリッド・カーや電気自動車のための燃料消費量測定方法の新たな基準作りが進められています。この新しい測定方法を使用した場合、BMW Vision EfficientDynamics の CO₂ 排出量は、当初の 1 km あたり 99 グラムが、さらに約 3 分の 1 まで減少します。

3 つの駆動ユニットによるパワーを極めて緻密に統合化

このような卓越したパフォーマンスと優れた燃費性能は、効率性に優れた 3 気筒ターボ・ディーゼル・エンジンと、フロント・アクスルに搭載された 3 相同期モーター、リア・アクスルのフル・ハイブリッド・システムを組み合わせることによって実現しました。3 つの駆動ユニットによるパワーを、精密なエネルギー・マネージメントによって緻密に統合化したことで、パフォーマンスと効率性は比類のない水準まで強化されました。さらに BMW のアクティブ・ハイブリッド・テクノロジーが持つ潜在能力を最大限に活用することで、燃料消費量も大きく軽減しています。システム全体の最高出力は 262 kW(356 ps)を発生し、最大トルクは 800 Nm にも達します。

排気量 1.5 リッターの 3 気筒ターボ・ディーゼル・エンジンは、ダウンサイジングの原則にしたがって設計されています。比較的小排気量のエンジンにターボチャージャーで過給するというこの手法は、排出ガスを徹底的に削減するためのものです。

この 3 気筒エンジンは、俊敏なミッドシップ・スポーツ・カーと同様にリア・アクスルの前方に搭載されています。コンパクトな設計のこのエンジンを採用したことで、室内に 2 つのリア・シートを装備することもできました。

このエンジンの特徴は、最先端のコモンレール式ダイレクト・フューエル・インジェクションと、可変吸気ジオメトリーを採用したターボチャージャーです。最高出力は 120 kW (163 ps) を発生し、最大トルクは 290 Nm です。

エンジン・ブレーキでの走行中（惰走時）やブレーキング中は、リア・アクスルに取り付けられた電気モーターが発電機として機能し、リチウム・ポリマー・バッテリーに電力を供給します。つまりこのとき、電力は余計な燃料を消費せずに生成されているのです。

また従来型の電源ソケット（コンセント）を使って車載のバッテリーに充電することもできます。通常の家庭用電源（220V、16A）の場合、フル充電までには約 2 時間半を要します。また、これよりも高い電圧と電流の電源（380V、32A）であれば、わずか 44 分まで充電時間を短縮することもできます。

蓄電ユニットは、車両中央部に沿って伸びるシャシー・エレメント（センター・トンネル）の内部に収納されています。

BMW Vision EfficientDynamicsIn に搭載されているリチウム・ポリマー・バッテリーのセル数は、総計で 98 セルとなっています。このバッテリーに加え、センター・トンネル後端部には、容量 25 リッターの燃料タンクも装備されています。このタンクに満タン状態まで軽油を給油すると、内燃式エンジンのみで 650 km まで走行することができます。電気モーターのみの場合、最長で 50 km 走行できるため、この両者を合計すると、BMW Vision EfficientDynamics の航続距離は約 700 km に達することになります。

インテリジェント・ライトウェイト・テクノロジーを明確に表現した、テクノロジー志向のデザイン

BMW Vision EfficientDynamics は、デザイン面でもこれまでにまったく例のない手法を採り入れています。「形態は機能に従う」という原則は、このクルマの全体的なルックスや構成、ひとつひとつの細かなディテールにおいても貫かれています。BMW Vision EfficientDynamics は、こうして本当にユニークで、本当に美しいルックスを持つクルマとして完成しました。

この新しいコンセプト・カーの寸法は、全長 4.6m、全幅 1.9m、全高 1.24m で、大人 4 人を乗せて荷物を積み込むことのできる広々とした室内空間を備えています。車両全体に徹底的にインテリジェント・ライトウェイト構造を採り入れたことにより、DIN 規格による車両重量は 1,395 kg に抑えられており、快適性や運動性能に影響をもたらす重心も非常に低く設定することができました。

ハイブリッド駆動用のコンポーネントや大容量のリチウム・ポリマー・バッテリーを搭載している点を考慮すれば、これらの数値は効率性の強化に徹した全体のコンセプトが持つ強みをはっきりと証明しています。このコンセプト・カーのパワー・ウェイト・レシオは、これまでのどのハイブリッド・カーよりもはるかに優れています。

内燃式エンジンをリア・アクスルの前方に搭載したことで、BMW のデザイナーはこのクルマのフロント・エンドを、躍動感あふれる低い流線型にデザインすることもできました。

わずか 0.22 という空気抵抗係数を達成した車両コンセプト

ボディに組み込まれた数多くの構成要素は、このクルマの空力特性を最適化するためのエア・ガイドとして機能します。例えば A ピラーはダクト状にデザインされており、断面をウイング状にデザインしたテール・ライトと同じように、空気の流れをスムーズに導く役割を果たします。

フロア下は全面がカバーで覆われています。フロントのエア・ダム周りの細い開口部は、密閉型の 2 本のダクトに直接空気を導きます。このダクトを通過した空気は、フロントのエア・ダムからホイール・アーチへと流れ、極端に細く設計された排気口から高速で車外に噴出され、ホイールの外側表面を流れます。この高速の気流はカーテンのようにフロント・ホイールの表面を包むため、「エア・カーテン」と呼ばれています。

車両全体の空力特性を最適化し、転がり抵抗を最小限に抑えるため、BMW Vision EfficientDynamics には、スポーツ・カー用としては特殊なサイズのタイヤとホイールを装着しています。タイヤ・サイズはトレッド幅と高さの比率が 195 x 55 で、ホイールはリム直径が 21 インチと大型の設計です。このタイヤは、より幅の広いタイヤに匹敵する面積で路面と接します。最新の運動力学を基にしたアクスルとの組み合わせにより、このタイヤはどのような状況においても俊敏な走りを支えます。

空力特性を最適化するためのこうした特徴が一体となって、BMW Vision EfficientDynamics の空気抵抗係数(Cx)はわずか 0.22 という突出した数値を達成しています。

どのシートにも楽に乗降できるガルウイング・ドア

BMW Vision EfficientDynamics のドアは、上に開くガルウイング・タイプとしてデザインされており、フロント・ルーフ・ピラー基部のサイド・ターン・インジケーターに近い位置を軸に回転します。このクルマには B ピラーがないため、ドアの開口部が大きく、リア・シートでも楽に乗り降りすることができます。また機能性とデザイン性を理想的な形で融合したドアのヒンジ部は、ドア・ミラー・ベースとしての役割も果たしています。

豊かな造形美と多層化技術によって生まれた情感あふれるデザイン

造形美豊かなデザインは BMW ならではのスポーツ・カーらしいプロポーションを表現し、まるで一体成型のような完璧なルックスを実現しています。フロント、サイド、リヤ、ルーフは渾然一体となってスムーズに流れます。躍動感あふれる面構成と輪郭は魅力的な光と影の効果を生み出し、このクルマの持つ軽快でスポーティなキャラクターを情感たっぷりに表現しています。

BMW グループのデザイン部門が開発した特殊な多層化技術(レイヤリング・テクノロジー)は、エクステリアおよびインテリアのデザインにおいて中心的なモチーフとしての役割を果たしています。インテリアとエクステリア両方のデザインに初めて採り入れられたこのテクノロジーは、ひとつの面の上に他の面を重ねてボディの継ぎ目を滑らかに整えることでコンポーネントの数を減らし、車両全体をさらに軽量化することに貢献しています。

最も重要な情報を常に視界の中へ: 3次元式ヘッドアップ・ディスプレイ

多層化技術は、BMW Vision EfficientDynamics のメーター・パネルのディスプレイや改良型ヘッドアップ・ディスプレイにも採り入れられています。このテクノロジーによって 3次元感覚の表示が可能になり、ドライバーは妥当性やその時々 の走行条件に応じて、さまざまなシグナルを調整し、必要な情報を前面または背面に(背景に溶け込むように)表示させることもできるようになりました。

BMW Vision EfficientDynamics では各種の車載コンポーネントをネットワーク化することで、さまざまなドライバー・アシスタンス・システムのセンサーが収集した情報をもとに、先読み型のエネルギー・マネージメント・システムを実現しています。例えば、レーン・センサーやストップ & ゴー機能付アクティブ・クルーズ・コントロール、ナビゲーション・システムが集めた情報をコントロール・ユニットで解析し、現在と今後の状況についての情報として提供します。

2009 年秋の BMW モデル・レンジ: あらゆるセグメントで優れた効率性を提供

BMW はこの 2009 年の秋も、引き続き多彩な市販モデルを通して低燃費・低排出ガス車両を増強する戦略を推進します。これによって今年の秋には、ヨーロッパの排出ガス基準 EU5 をクリアした BMW の数は 90 種以上に達します。同時に 2014 年に施行される EU6 の達成についても、BMW は他のメーカーをリードする立場をさらに固めつつあります。

さらに一步前進: BMW 320d エフィシエント・ダイナミクス・エディション

画期的なニュー・モデルである BMW 320d エフィシエント・ダイナミクス・エディションは、通常の BMW 320d の派生モデルであり、2009 年のフランクフルト・モーターショーで初公開されます。この最先端のセダンは最高出力 120 kW (163 ps) のディーゼル・エンジンを搭載し、EU テスト・サイクルによる燃料消費量は 100 km 走行あたり 4.1 リッターで、1 km 走行あたりの CO₂ 排出量は 109 グラムを達成しています。

この革新的なニュー・モデルを導入することで、BMW はクリーンでダイナミックな自動車の開発において、さらに大きく他メーカーをリードします。

BMW 320d エフィシエント・ダイナミクス・エディションは、BMW の現行モデルの中で、低燃費・低排出ガスの面で最も優れています。プレミアム・ミッドレンジ・セグメントの中で、特に経済性を重視するお客様や、BMW 特有の躍動感あふれる走りのキャラクターを楽しみつつ、環境も大切にしたいと考えるお客様にとって最高のクオリティを提供します。

BMW 320d エフィシエント・ダイナミクス・エディションには、優れた燃費性能と排出ガス特性にさらなる最適化を施し、抜群の経済性を達成した 4 気筒ディーゼル・エンジンを搭載しています。このアルミ製クランクケースとターボチャージャーを装備した排気量 2 リッターのエンジンには、BMW 316d、BMW 318d、BMW 320d と動揺にコモンレール式ダイレクト・フューエル・インジェクション・システムを採用しています。

遠心力を利用するペンドラム機構を採用したダブルマス・フライホイールと、ファイナル・ドライブ・レシオを低く設定（ハイ・ギアード化）したことで、あらゆる速度域でエンジン回転数を低く抑えることができました。

遠心力を利用するペンドラム機構を採用したことで快適に走行できるため、ドライバーはシフト・ダウンせずにより高いギヤで走ろうとするようになります。ただし、それと同時にこのモデルは、とりわけ加速時には BMW ならではのパフォーマンスと俊敏性を発揮することもできます。実際の運動性能は、0-100km/h 加速性能が 8.2 秒というタイムや、225 km/h に達する最高速度にも現れています。

BMW 320d エフィシエント・ダイナミクス・エディションには、現行の BMW 3 シリーズの全モデルに装備されている BMW エフィシエント・ダイナミクスの各種技術を満載しています。これらと共に、ハイ・ギアード化されたファイナル・ドライブ・レシオ、車高を低くしたサスペンション、新開発のタービン・ホイール・デザインによるエアロ・ホイール、通常の BMW 320d よりもエンジン出力を 10 kW (14 ps) 抑えることで排出ガス量をさらに低減させており、その結果 1 km 走行あたりの CO₂ 排出量は 110 グラムを切っています。

また改めて述べるまでもなく、このモデルにはディーゼル微粒子フィルターも装備しており、ヨーロッパの排出ガス基準 EU5 もクリアしています。

BMW 3 シリーズにエントリー・レベルのディーゼル車が登場

激しい競争の続くミッドレンジ・セグメントに導入した BMW 316d は、オールラウンドな経済性に優れ、同時に BMW 特有の駆けぬける歓びを提供します。効率性を極めたこのセダンには、コモンレール式フューエル・インジェクションを採用した排気量 2.0 リッターのターボ・ディーゼル・エンジンを搭載しています。

最高出力は 85 kW(115 ps)で、最大トルクは 260 Nm / 1,750 rpm を発生します。0-100 km/h 加速タイムは 10.9 秒で、最高速度は 202 km/h ですから、優れた俊敏性を発揮することも明らかです。また、このモデルも燃費性能面で新たな基準を確立しており、EU テスト・サイクルでの平均燃料消費量は 4.5 リッター / 100 km で、CO₂ 排出量は 118 g / km です。これは 2008 年に「世界グリーン・カー・オブ・ザ・イヤー」に輝いた BMW 118d を凌ぐ数値です。もちろん、このモデルもヨーロッパの排出ガス基準 EU5 をクリアしています。

効率性に優れたスポーツ・アクティビティ・ビークル: BMW X3 xDrive18d

BMW は世界で最も大きな成功をおさめたプレミアム四輪駆動車メーカーとして、BMW X3 のモデル・ラインナップに新たなエントリー・モデルを加え、スポーツ・アクティビティ・ビークルにおける効率性の基準をさらに引き上げます。この新たなエントリー・モデル BMW X3 xDrive18d は、最高出力 105 kW(143 ps)を発生する排気量 2.0 リッターの 4 気筒ディーゼル・エンジンを搭載します。このモデルの最大トルクは 350 Nm / 1,750 rpm で、この低回転域から発揮される力強い加速によって 0-100 km/h 発進加速性能は 10.3 秒をマークします。最高速度は 195 km/h です。

このモデルの EU テスト・サイクルによる平均燃料消費量は 100 km 走行あたり 6.2 リッターで、CO₂ 排出量は 1 km 走行あたり 165 グラムとなっています。もちろん、EU5 排出ガス基準もクリアしています。

BMW X3 の全モデルには、新たなオプション装備品として M エクステリア・パッケージが用意されることになりました。このパッケージは、BMW X3 専用 M エアロダイナミクス・パッケージに含まれるフロントおよびリアのエア・ダムと、ブラックのホイール・カバー付サイド・シルで構成されています。

コンパクト・セグメントに経済的な走りを:

BMW 1 シリーズの 3 ドア、5 ドア、および BMW 3 シリーズにスポーツ・エディション およびライフスタイル・エディションが登場、ニューBMW 120i クーペおよび 118d クーペも登場

卓越した効率性と BMW でしか体験することのできない駆けぬける歓び、さらに革新的な装備品と上質のクオリティによって、BMW 1 シリーズはセグメントの中でも独自の地位を築き上げています。新しく登場するライフスタイル・エディションおよびスポーツ・エディションは、こうしたキャラクターをさらに磨き上げ、完璧なハーモニーと洗練性を示す魅力的な機能と装備を提供します。いずれのエディションも、3 ドアと 5 ドアが用意されています。

2009 年 9 月に優れた経済性の低排出ガス・エンジン 2 種類を加えることによって、BMW 1 シリーズ・クーペのモデル・レンジをさらに充実させます。改めて述べるまでもなく、いずれのエンジンも EU5 排出ガス基準をクリアしています。

ニューBMW 120i クーペは、ハイ・プレジジョン・インジェクション(高精度ダイレクト・インジェクション)を装備した 2.0 リッター4 気筒エンジンを搭載しています。最高出力は 125 kW(170 ps)で、最大トルクは 210 Nm / 4,250 rpm です。新エンジンによって、0-100km/h 加速は 7.8 秒をマークする一方、EU テスト・サイクルによる平均燃料消費量は 6.6 リッター / 100 km を達成しています(CO₂ 排出量は 153 g / km)。

ニューBMW 118d クーペは、このタイプのモデルとしては最も効率性に優れたクルマです。搭載される 2.0 リッター・エンジンの最高出力は 105 kW(143 ps)で、最大トルクは 300 Nm に達します。

また 0-100km/h 加速タイムは 9.0 秒、EU テスト・サイクルによる 100 km 走行あたりの平均燃料消費量は 4.5 リッターで、CO₂ 排出量は 1 km 走行あたり 119 グラムとなっています。コンパクトなこのアスリート・モデルは、経済性とクリーンな性能の面でも卓越しています。

アッパー・ミドルレンジ・セグメントにおける魅力的なエントリー・モデル:

BMW 520d スペシャル・エディション

駆けぬける喜び、優れた快適性、迫力あるデザイン、革新的テクノロジー。これらは、アッパー・ミドルレンジ・セグメントにおける BMW 5 シリーズの傑出した地位を特徴付けています。新たに登場する BMW 520d スペシャル・エディションには、セダンとツーリングの 2 種類があります。いずれも多彩な機能や装備品が用意されており、また燃費性能の高さと排出ガスの少なさの点でもセグメントで最も優秀な数値を達成し、ヨーロッパの排出ガス基準 EU5 も難なくクリアしています。

BMW 520d スペシャル・エディションには、最高出力 120 kW(163 ps)、最大トルク 350 Nm を発生する排気量 2.0 リッターの 4 気筒ディーゼル・エンジンが搭載されています。

BMW 520d スペシャル・エディションは、その効率性も非常に優れています。EU テスト・サイクルでの平均燃料消費量は 5.1 リッター / 100 km で、CO₂ 排出量は 136 g / km です。

BMW 520d スペシャル・エディションには、BMW 520d に採用しているさまざまな機能を強化し、さらに快適性を高める目的で、数多くの装備品を組み込みました。その中には、例えばフロントのシート・ヒーター、パーク・ディスタンス・コントロール、「Edition」のロゴが刻印されたドア・シル・プレートなどがあります。この他にも、さらに多彩な機能を内蔵したオートマチック・エアコンディショナーも装備されています。BMW 520d スペシャル・エディションのセダンにはスキー・バッグ付きのスルー・ローディング機能が、またツーリングにはルーフ・レールが装備されます。

BMW 7 シリーズ: EU6 排出ガス基準をクリアする新型ディーゼル・エンジン BMW BluePerformance を搭載し、さらに初めて xDrive を導入

ニューBMW 7 シリーズは、市場導入後、瞬く間に成功をおさめました。BMW は、この卓越したモデル・シリーズがラグジュアリー・パフォーマンス・セグメントで確立した最も革新的なクルマとしての地位を、さらに磐石なものへと固めようとしています。その一例が、2009 年秋に導入予定の BMW 740d です。これは BMW のツインパワー・ターボ・テクノロジーを採用した新しい直列 6 気筒ディーゼル・エンジンを搭載する初のモデルです。

12 気筒エンジンを搭載した新しいトップ・モデル BMW 760i および BMW 760Li を含めると、BMW 7 シリーズは 3 種類のカソリン・エンジン車と 2 種類のディーゼル・エンジン車で構成されます。

BMW 740d は、新開発の 6 気筒エンジンを搭載する初のモデルです。オール・アルミ製のこのエンジンには、BMW ツインパワー・ターボ・テクノロジー、最大 2,000 バールの噴射圧で燃料を供給するピエゾ・インジェクターを装備するコモンレール式ダイレクト・フューエル・インジェクションを採用しています。このエンジンは、バリアブル・ツインターボ原理による過給システムを採用しました。

この全く新たに開発されたパワー・ユニットの最高出力は 225 kW (306 ps) で、600 Nm におよぶ最大トルクを 1,500~2,500rpm の回転域で衰えることなく発生します。このエンジンを搭載した BMW 740d は 0-100km/h 加速を 6.3 秒で駆けぬけ、最高速度は電子制御により 250 km/h に制限しています。

EU テスト・サイクルでの平均燃料消費量は 6.9 リッター / 100 km で、CO₂ 排出量は 181 g / km です。このレベルのパワーとパフォーマンスを発生するクラスにおいて、新たな効率性の基準を確立する一台です。

ラグジュアリー・パフォーマンス・セダンの BMW 730d と BMW 730Ld には、このセグメントとしては初めて BMW BluePerformance (BMW ブルー・パフォーマンス) をオプションで装備することができるようになりました。この 2 モデルに搭載される最高出力 180 kW (245 ps) の新型 6 気筒ディーゼル・エンジンは、このテクノロジーの排出ガス・マネージメントによって、2014 年に施行される EU6 の窒素酸化物基準もクリアしています。

BMW 730d および BMW 730Ld の BMW BluePerformance 仕様車には、ディーゼル微粒子フィルターと酸化触媒コンバーターの機能を補う目的で、車両の耐用期間全体にわたってメンテナンスや作動のための触媒を追加する必要のない、NOx 吸蔵キャタライザーが標準装備されます。

BMW BluePerformance を装備した場合でも、燃料消費量や CO₂ 排出量に悪影響を及ぼすことはありません。むしろ、標準仕様車よりもさらに削減することができます。

エンジンとドライブトレインに改良を加えることで、EU テスト・サイクルによる 100 km 走行あたりの平均燃料消費量は、BMW 730d が 6.8 リッター、BMW 730Ld は 6.9 リッターまで向上します。1 km 走行あたりの CO₂ 排出量についても、BMW 730d は 178 グラム、BMW 730Ld は 180 グラムとなります。

BMW 7 シリーズとしては初めて、2010 年のモデル・イヤーからインテリジェント四輪駆動システム xDrive を用意する予定です。BMW 750i xDrive と 750Li xDrive に搭載される電子制御フルタイム四輪駆動システムは、BMW ツインパワー・ターボ・テクノロジーを採用した V8 エンジンが生み出す 300 kw(407 ps)にも及ぶパワーを、あらゆる条件のもとで最適に配分します。

こうした精緻で素早いパワー・マネージメントによって、この卓越したラグジュアリー・パフォーマンス・セダンは、どのような場面でも比類ないレベルの安全な走りを実現します。特にコーナーでは、より鋭く俊敏に駆けぬけるため、駆動力の多くをリア・アクスルへ配分します。

BMW 750i xDrive と 750Li xDrive には、車両の姿勢を安定させるための電子制御システムとしてダイナミック・ドライブが標準装備されます。ドライバー、同乗者ともに、この優れたセダンがもたらす高水準の俊敏性を、快適に、しかも存分に楽しむことができます。

最大限の保護能力:ニュー BMW 7 シリーズ・ハイセキュリティ

BMW 7 シリーズをベースにした新世代のハイセキュリティ・セダンは、車内で危険な状況にさらされている個人を守る上で求められる最高水準の条件をすべて満たしています。BMW 760Li ハイセキュリティと BMW 750Li ハイセキュリティは、防弾車両に関する規格に基づき、世界で初めて「BRV2009」に認定されました。また両モデルとも、防弾カテゴリーのクラス 7 をクリアしています。実際には、BMW 760Li ハイセキュリティと BMW 750Li ハイセキュリティの両モデルのボディに装着されている非透過性部品は特に効果的な保護能力が与えられており、防弾カテゴリー9 の基準も満たしています。

これら 2 つのラグジュアリー・セダンは、個人の移動手段という分野における最高水準の安全性を代表するモデルです。比類ない長距離走行快適性、突出したドライブトレイン・テクノロジーを誇り、どのような状況下でも最高の走りを確実に維持できる革新的な装備品の数々を搭載しています。

BMW 760Li ハイセキュリティと BMW 750Li ハイセキュリティは、両モデルのための特製超高強度鋼による防弾性能を備えたボディや、乗る人の生命を守るため

に新開発されたウインドウ・ガラスによって、あらゆる攻撃から室内の乗員を守りぬきます。また、過酷な走行条件や危険な状況を安全に切り抜けることができるように、重量と重心を精密に設定したドライブレインとサスペンションも特徴としています。

さらに効率よく、さらに優位に、さらに豪華に: BMW アクティブ・ハイブリッド 7

2009 年のフランクフルト・モーターショーで、BMW はハイブリッド・テクノロジーを最高に贅沢なスタイルで楽しむためのクルマを提案します。それが BMW アクティブ・ハイブリッド 7 です。BMW 7 シリーズをベースにしたこのモデルは、ラグジュアリー・クラスにおける効率性において新たな基準を確立します。

BMW アクティブ・ハイブリッド 7 はマイルド・ハイブリッド・コンセプトを採用しており、V8 ガソリン・エンジンを搭載し、8 速オートマチック・トランスミッションと電気モーターを組み合わせた世界初のモデルです。高度な開発によって BMW のツインパワー・ターボ・テクノロジーとハイ・プレシジョン・インジェクションを採用した 8 気筒エンジンと 3 相同期電気モーターを組み合わせ、システム総出力は 342 kW (465 ps)、最大トルクは 700 Nm を発生、このパワーは 8 速オートマチック・トランスミッションを通じて伝達されます。

エンジンとオートマチック・トランスミッション用トルク・コンバーターとの間には、自動車専用に開発されたリチウム・イオン・バッテリーから電力供給を受ける電気モーターがコンパクトに搭載されています。

BMW アクティブ・ハイブリッド 7 は、エンジンと電気モーターのパワーを正確にコントロールすることで、効率だけでなく、運動性能と優れた快適性を最適な形で提供します。これにより、静止状態から 100 km/h までの加速をわずか 4.9 秒で駆けぬけ、しかも EU テスト・サイクルの平均燃料消費量は 100 km 走行あたり 9.7 リッター、CO₂ 排出量は 1 km 走行あたり 225 グラムに抑えています。

ハイブリッド・テクノロジーにより、効率的に、快適に各種の装備品を利用することができます。例えば BMW アクティブ・ハイブリッド 7 は、BMW のオートマチック・トランスミッション仕様車としては初めてオート・スタート・ストップ (オートマチック・エンジン・スタート/ストップ) 機能を装備しており、これにより交差点などでの停車中や渋滞での無駄なアイドリングを避けることができます。さらにこれまでになかった機能として、エンジンを停止している状態でもエア・コンディショナーやベンチレーション・システムを引き続き作動できるようになりました。この場合は、リチウム・イオン・バッテリーから各システムへ直接電力を提供します。こうしたエネルギー・マネージメント・コンセプトによって、車両が走行していない状態でも補機システムを通じて空調システムを効率的に機能させることができるようになっています。

BMW アクティブ・ハイブリッド・テクノロジーでは、ブレーキをかけた際の熱エネルギーを利用します。このエネルギーは、従来の車両では利用されないまま放出さ

れていましたが、このモデルではエンジン・ブレーキ(惰走時)、またはフット・ブレーキで制動しているときのエネルギーを徹底的に活用して電力を生成します。

その結果、BMW アクティブ・ハイブリッド 7 のエネルギー回生率は、内燃機関だけで機能するブレーキ・エネルギー回生システムを装備する BMW モデルの 8 倍に達しています。

電気モーターと車載ネットワークに電力を供給するリチウム・イオン・バッテリー

BMW アクティブ・ハイブリッド 7 では、エンジン・ブレーキを使った走行中(惰走時)、またはブレーキをかけて制動しているときに発生する電気エネルギーを 2 系統のオンボード・ネットワークに供給しており、ガソリンを消費することによる電力供給は行いません。BMW アクティブ・ハイブリッド 7 には、AGM(ガラス・マツト吸収式)バッテリーから電力を供給する従来型の 12V オンボード・ネットワークと、ラゲッジ・ルーム内にコンパクトに搭載されるリチウム・イオン・バッテリーから電力を供給する 120V の高電圧オンボード・ネットワークが装備されています。

BMW アクティブ・ハイブリッド 7 に搭載された 8 気筒エンジンは、最高出力 330 kW(449 ps)を 5,500~6,000 rpm のエンジン回転域で発生します。また、この卓越した V8 ユニットの、2,000~4,500 rpm の広いエンジン回転域で 650 Nm もの強大なトルクを発生します。

このエンジンの生み出すダイナミックなレスポンスを、電気モーターの生み出す駆動力がさらに強化します。快適性を重視した穏やかなスタイルで走行しているときには、この電気モーターからの駆動力を用いることで内燃式エンジンを比較的負荷の少ない、つまり効率の高い回転域で作動させることができるようになります。これによって全般的な効率性と洗練された走りはさらに向上します。

走行中は、メーター・パネル内の専用ディスプレイとコントロール・ディスプレイにその時々効率性の度合いとハイブリッド・コンポーネントの作動状況を表示します。空力特性を最適化したタービン・ホイール・デザインの 19 インチ・アロイ・ホイールは、このモデル専用デザインです。またトランク・リッド、サイド・ウインドウ後方の C ピラー、ドア・シル・プレートには、モデル名のロゴマークがあしらわれています。これらふたつの特徴によって他のモデルと BMW アクティブ・ハイブリッド 7 を差別化し、特別なテクノロジーを組み込んだクルマであることを伝えます。

ハイブリッド・システムを搭載した BMW 初のラグジュアリー・パフォーマンス・セダンには、2 つのボディ・バリエーションが用意されます。ロング・ホイールベース仕様はホイールベースが 14cm 長く、後席にいっそう広々とした空間をもたらします。

効率性をもたらすスリル: BMW アクティブ・ハイブリッド X6

2009 年のフランクフルト・モーターショーでは、BMW アクティブ・ハイブリッド 7 のほか、BMW アクティブ・ハイブリッド・テクノロジーを搭載したもうひとつのモデル、

BMW アクティブ・ハイブリッド X6 も公開します。この世界で初めてフル・ハイブリッド・システムを搭載したスポーツ・アクティビティ・ビークルは、内燃式エンジンと電気モーターの組み合わせがもたらす潜在性能を、かつてない手法によってダイナミックな走りへと変換します。このクルマのパワートレインは、BMW ツインパワー・ターボ・テクノロジーを採用した最高出力 300 kW(407 ps)の V8 エンジン 1 基と、出力 67 kW(91 ps)および 63 kW(86 ps)の 2 基の 3 相同期モーターで構成されます。この駆動システム全体の出力は 357 kW(485 ps)となり、最大トルクは 780 Nm を発生します。

これら 3 つのパワー・ユニットを緻密な制御で連携させることで、あらゆる速度域における総合効率性を最適化しています。

BMW アクティブ・ハイブリッド X6 の 0 - 100 km/h 発進加速性能は 5.6 秒です。また最高速度は電子制御リミッターによって 236 km/h に制限されています(オプションのスポーツ・パッケージ装着車は 250 km/h)。EU テスト・サイクルによる平均燃料消費量は 9.9 リッター / 100 km、CO₂ 排出量は 231g / km です。

この BMW 初のフルハイブリッド・モデルは、必要に応じて内燃式エンジンを停止させ、電気モーターの駆動力だけで CO₂ をまったく出さずに 60 km/h までの速度で走行することができます。このクルマの効率性と運動性能をさらに高め、2 種類の動力源を理想的に組み合わせるシステムが、2 つのモードを内蔵したアクティブ・トランスミッションです。2 基の電気モーターからの駆動力は、7 速オートマチック・トランスミッションと同じように、3 組のプラネタリー・ギヤ・セット、4 組の多板クラッチを経由して伝達されます。インテリジェント四輪駆動システム xDrive は、エンジンからのパワーを前後のアクスルへ最適に配分します。

ラゲッジ・コンパートメントのフロア下に搭載された高性能ニッケル水素 (NiMH) バッテリーからは、2 基の電気モーターに電力を供給し、さらに車載ネットワークにも電力を供給します。走行中にブレーキ・ペダルを踏み込んだり、アクセル・ペダルを戻したりすると、運動エネルギーは電力に変換され、高性能バッテリーに貯蔵されます。この発電機能は、走行状況に応じていずれか一方、あるいは両方の電気モーターによって行います。この場合、電気モーターは発電機としての役割を果たし、発生した電力は余計な燃料を使わずに高性能バッテリーへ貯蔵します。

この際に発生する電力は、標準仕様の BMW X6 に装備されているブレーキ・エネルギー回生システムの約 25 倍に相当します。

余計な燃料を使わずパフォーマンスの向上と発電を行う電気モーター

発電機として機能しているときの 2 基の電気モーターは、車両を減速させる際に大きな制動力をもたらします。このモーターがエネルギー回生モードで作動しているときの減速度は最大 3 m/秒²に達します。これによって、機械式のブレーキ・システムにかかる負担は大きく減少することになります。

BMW アクティブ・ハイブリッド X6 に搭載されているハイブリッド・システムは、エネルギー回生モードで電気モーターが生み出す制動力を、xDrive を経由して 4 輪のすべてに作用させることもできます。3 m/秒²を上回る減速度が必要と判断された場合には、コントロール・ユニットがアクティブ・ブレーキ・フォース・ブースターを使って機械式のブレーキ・システムを作動させ、制動力を補います。

電子制御式連続可変トランスミッション (ECVT) をベースにした 2 モード・アクティブ・トランスミッションは、2 種類の作動モードで作動します。ひとつは低速時にダイナミックなパワーを生み出すためのモードで、もうひとつは高速走行用モードです。

BMW アクティブ・ハイブリッド X6 と、従来型の駆動システムを備えた標準仕様の BMW X6 を見分ける手がかりは、非常に控えめに表現されています。このモデルが他とは違った能力を持って生まれてきたことを物語っているのは、メーター・パネルに設けられたハイブリッド車専用のディスプレイと、「BMW ActiveHybrid」のロゴがあしらわれた運転席および助手席側のドア・シル・プレートです。

車外からこのモデルを見分けるためのもうひとつの手がかりは、エンジン・フードに設けられたパワー・ドームです。またテールゲートのトリム・バーとフロントのドアにあしらわれた「ActiveHybrid」のロゴマークも、BMW アクティブ・ハイブリッド X6 の特別なキャラクターを際立たせる特徴です。

湧き上がる駆けぬける歓び: BMW X1

BMW X モデルならではのさまざまな特徴が、プレミアム・コンパクト・カーでも体験できるようになりました。BMW X1 は、プレミアム・コンパクト SAV として、BMW 特有の駆けぬける歓びを新たなスタイルで表現しています。

BMW X1 は、多目的に使えるスポーツ性と街中での俊敏な走りを兼ね備えただけのモデルではありません。そのルックスは自信に満ちた優雅さを漂わせ、洗練された機能性とモダンなスタイルを完璧に表現しています。

BMW インテリジェント四輪駆動システム xDrive を装備したドライブレインと、さまざまなスタイルに組み替えができるモダンなインテリアを備えた BMW X1 は、新たな走りの体験をもたらし、多用途に活用できるクルマとしての理想的な特性を提供します。高い位置に設けられたシート・ポジションとドライバー志向のcockpit によって、ドライバーの感性に訴える走りを実現しています。

BMW エフィシエント・ダイナミクスによってもたらされるさまざまなテクノロジーによって、このモデルも BMW の X モデルがさまざまなセグメントで実現したパフォーマンスと燃料消費量の最適なバランスを提供します。

BMW X1 には、6 気筒ガソリン・エンジンが1種類と 4 気筒ディーゼル・エンジンが 2 種類用意されています。BMW X1 xDrive28i に搭載される直列 6 気筒エンジン

は、マグネシウム-アルミウム複合素材製のクランクケースを採用しています。このガソリン・エンジンにはバルブトロニックとダブル VANOS を採用し、最高出力は 190 kW (258 ps) を発生します。BMW X1 xDrive23d には、BMW ツインパワー・ターボ・テクノロジーおよびコモンレール式フューエル・インジェクション・システムを採用した、最高出力 150 kW (204 ps) のディーゼル・エンジンを搭載しています。

BMW X1 xDrive20d (最高出力 130 kW / 177 ps) と BMW X1 xDrive18d (最高出力 105 kW / 143 ps) のディーゼル・エンジンは、コモンレール式フューエル・インジェクション・システムと可変タービン・ジオメトリー式ターボチャージャーを採用しています。BMW X1 sDrive20d および BMW X1 sDrive18d は後輪駆動を採用したモデルで、搭載されるエンジンは効率性にも優れています。BMW X1 sDrive18d の EU テスト・サイクルにおける平均燃料消費量は 5.2 リッター / 100 km で、CO₂ 排出量は 136 g / km を達成しており、湧き上がるような駆けぬける歓びを、最も効率的に実現しています。もちろん、BMW X1 に搭載される各種エンジンは、EU5 排出ガス基準をクリアしています。

全長 4.45 m の 5 ドア・モデル BMW X1 は、BMW X6 や BMW X5、BMW X3 よりもコンパクトであるにもかかわらず、どの角度からでもひと目で BMW の X モデルであるとわかります。

広々とした収納エリアと大容量の収納ボックス、センター・コンソールに組み込まれたカップ・ホルダー、ボトル・ホルダーが設けられた大きなドア・ポケットなど、これらの装備品が BMW X1 の優れた機能性を物語っています。後席に装備された大きなベンチ・シートには大人 3 人が快適に乗車することができます。また、大きなテールゲートとワイドな開口部を持つラゲッジ・コンパートメントは開口部の下部が低く設定されており、大きな荷物も簡単に積み降ろしできます。

後席のバックレストは角度調節ができ、90°に調節すると、420 リッターのラゲッジ・コンパートメント容量が 480 リッターに拡張できます。また、このバックレストは 40 対 20 対 40 の分割可倒式でさまざまに使い分けることができ、必要に応じてラゲッジ・コンパートメントの容量は 1,350 リッターまで広げることができます。

BMW xDrive: コンパクト・セグメント初のインテリジェント四輪駆動システム

BMW のフルタイム四輪駆動システム xDrive は、前後のアクスルに伝える駆動力を可変制御するシステムです。このシステムによって俊敏な走りを強化すると共に、滑りやすい路面での確かなトラクションを実現しています。BMW X1 の導入によって、このインテリジェント四輪駆動システムが初めてコンパクト・カーにも装備されることになりました。

新次元を切り拓く: BMW 5 シリーズ グランツーリスモ

BMW が新たに打ち出した革新的な車両コンセプトによって、アッパー・ミドルレンジ・セグメントにこれまで以上の魅力が加わりました。

新たなセグメントを創出した世界で初めてのモデル、BMW 5 シリーズ グランツーリスモは、高級セダン、現代的なスポーツ・アクティビティ・ビークル、クラシックなグランツーリスモのそれぞれの特徴をひとつに融合させたクルマです。スタイリッシュでエレガントなデザインが与えられたこのユニークな 4 ドア・モデルは、クーペを思わせる伸びやかなルーファインと BMW 特有のプロポーション、フレーム・レスの 4 枚のドア、2 ピース構造のテールゲートを特徴としています。その室内は極めて広く、高級感があり、快適で、乗り降りに便利な若干高めの快適なシート・ポジションと、あらゆる交通状況下でも全方向にわたる優れた視界、優れた多様性を提供します。

BMW 5 シリーズ グランツーリスモは、その名が示す通り、長距離ドライブをするのにこれ以上ないほど適したクルマです。その高級感あふれる雰囲気は、後席の空間に伸び伸びとリラックスできるゆとりをもたらすだけでなく、BMW 7 シリーズに匹敵するほどの広いフット・スペースと、BMW X5 と同じレベルのヘッド・クリアランスを提供します。後席のバックレストの角度は、左右独立して乗員の好みに合わせて調節することができます。

力強く効率的なエンジンを搭載し、ダイナミック・ドライブ・コントロール、最先端のサスペンション・テクノロジー、革新的なドライバー支援システムを標準装備することで、真に比類ない走りを愉しむことができるクルマです。

ドライブトレインにもさまざまな革新的技術を駆使しています。そのひとつが、ターボチャージャーとハイ・プレシジョン・インジェクション、革新的バルブ・コントロール・テクノロジーのバルブトロニックを初めて組み合わせた BMW 535i グランツーリスモの直列 6 気筒エンジンです。BMW ツインパワー・ターボ・テクノロジーを採用したこの 3.0 リッター・エンジンは、最高出力 225 kW(306 ps)を発生し、400 Nm の最大トルクを 1,200~5,000 rpm の広い回転域でコンスタントに発生します。

BMW 5 シリーズ グランツーリスモの中で最もパワフルなエンジンは、BMW 550i グランツーリスモに搭載されます。この V8 エンジンには BMW ツインパワー・ターボ・テクノロジーとハイ・プレシジョン・インジェクションを採用し、最高出力 300 kW(407 ps)を発生します。一方、経済性に優れたモデルが BMW 530d グランツーリスモです。このモデルの EU テスト・サイクルにおける平均燃料消費量はわずか 6.5 リッター / 100 km で、CO₂ 排出量は 173g / km です。

BMW 5 シリーズ グランツーリスモに用意されたエンジンは、いずれもヨーロッパの EU5 排出ガス基準をクリアしています。また全てのモデルに、素早いシフト・チェンジと高い効率性を両立させた革新的な 8 速オートマチック・トランスミッションを搭載しています。

インテリア:広々とした空間と独特の高級感

内装品の形状やデザイン、インテリアの配色、選び抜かれた素材は、BMW 5 シリーズ グランツーリスモの室内の広々とした独特な感覚をいっそう強めます。ダッシュボードは水平方向に分割されており、ブラック・パネル・テクノロジーを採用したメーター・パネルと BMW iDrive 用コントロール・ディスプレイが配置されています。

若干高めに設定されたシート・ポジションは、ドライバーと助手席の同乗者にさまざまなメリットをもたらします。さらにこのモデルでは、後席に標準装備されるベンチ・シートに代えて、独立 2 座式のシートを装備することもできます。

BMW の車両に初めて装備されることになった 2 ピース構造のテールゲートは、荷物の積み降ろしの際の快適性と多様性を最大限に高めます。このテールゲートは、リヤ・ウインドウの下小さな開口部と、BMW X モデルのような大型のリッドの 2 つの方法で開閉できる構造になっています。

ラゲッジ・コンパートメントの容量は、通常の状態では 440 リッターを確保しています。リア・シートを前方に移動させ、パーティションを外せば 590 リッターまで拡張できます。さらに大きな空間が必要な場合には、パーティションを外したまま後席のバックレストを完全に折り畳めば容量は最大 1,700 リッターまで拡大します。

BMW 5 シリーズ グランツーリスモに搭載されている最先端のサスペンション・テクノロジーは、どのような走行条件の中でも乗る人にくつろぎを感じさせ、最高の乗り心地と安心感をもたらします。BMW 5 シリーズ グランツーリスモでは、標準装備のサーボトロニック付きラック & ピニオン式パワー・ステアリングに代えて、オプション装備品のインテグラル・アクティブ・ステアリングを選択することもできます。また、電子制御ダンパーとアクティブ・アンチロール・スタビライザーを一体化したアダプティブ・ドライブをオプション装備することもできます。

最上級のパフォーマンスと最高級のスタイル:BMW M3 の各種エディション・モデルと BMW M6 コンペティション・リミテッド・エディション

BMW M3 クーペをベースに独自のデザインと装備を盛り込み、何よりも個性を大切にするドライバーのために用意したのが 4 種類の BMW M3 エディション・モデルです。ボディとインテリアのデザインは入念に改良され、特定の意図を反映してデザインされたホイールが装着されるほか、車高を低く設定したサスペンションが装備されます。この BMW M3 エディション・モデルは 6 ヶ月限定生産となり、世界各国で販売されます。ボディ・カラーはアルペン・ホワイト、ブラック、ダカール・イエロー、モンテカルロ・ブルーを用意します。

2009 年のフランクフルト・モーターショーでは、さらにもうひとつ注目のモデルが初公開されます。それがニュー BMW M6 コンペティション・リミテッド・エディションです。このハイパフォーマンス・クーペはサスペンション性能を強化するために最適な改良を施し、さらに高いレベルの運動性能を実現しています。また、BMW

Individual によるマット仕上げのフローズン・グレー・メタリックのボディ・カラーが与えられ、個性豊かにデザインできるインテリアによって、スタイリッシュな独特の雰囲気を生み出します。

この特別な一台には、BMW Individual メリノ・レザーによるフル・レザー・インテリアが用意されており、2 種類のカラーから選ぶことができます。

BMW M6 コンペティション・リミテッド・エディションは、100 台のみの限定生産となります。

デビュー:4 気筒ディーゼル・エンジン用 BMW Performance パワー・キット

絶え間なく製品ラインナップを拡張し続けてきた BMW Performance は、これまで数多くのお客様に BMW の走りをさらに充実させ、独自のスポーティなスタイルの走りを追求し、楽しむための機会を提供してきました。

2009 年のフランクフルト・モーターショーで、BMW は 4 気筒ディーゼル・エンジン搭載車用パワー・キットを初公開することになりました。この製品は、BMW 3 シリーズと BMW 1 シリーズのパワフルな直列 6 気筒ガソリン・エンジン搭載車用パワー・キットと同様に、エンジン出力を 15 kW(20 ps)パワーアップします。

このディーゼル・エンジン用の BMW Performance パワー・キットを構成するソフトウェアおよびハードウェアは、相互に連携するよう設計されています。アルミ製クランクケースを装備し、コモンレール式フューエル・インジェクションを採用した排気量 2.0 リッターの 4 気筒ターボ・ディーゼル・エンジン用に開発されたこのキットは、最高出力を標準仕様の 130 kW(177 ps)から 145 kW(197 ps)にアップさせ、1,750~3,000 rpm の回転域で発生する最大トルクを 350 Nm から 390 Nm に引き上げます。

荷物を運ぶための理想のシステム:新しい BMW リア・ラック・システム

革新的なリア・トランスポート・システムは、BMW をドライブする方たちがトローバーを使わずに自転車やスキー、スノーボードを安全かつ便利に運ぶためのアクセサリです。このラック・システムは、各モデルに合わせて専用設計されたサポート・システムにより、後方視界を妨げることなく装着できます。システムには電気接続部が 1 つ用意され、トランスポート・ラック用の基礎として機能するベース・モジュール、自転車を 2 台まで取り付けることのできるラック本体が含まれています。さらに、ウインタースポーツ用の器材を搭載できるようにする予定です。

このリア・トランスポート・システムは、ニューBMW Z4 の導入と同時に市場へ導入される予定です。BMW 5 シリーズ・グラン・ツーリズム、BMW 1 シリーズ、BMW 3 シリーズ、BMW 5 シリーズ用のシステムも、今後導入する予定です。

極めて快適に目的地へ誘導:新しいポータブル・ナビゲーション・システム

BMW 純正アクセサリーのポータブル・ナビゲーション・システムは、快適性と安全性を大きく高めます。現在 BMW 3 シリーズと BMW 1 シリーズ用があり、BMW X3 およびニューBMW Z4 用にレトロフィット・キットが用意されています。また、BMW ナビゲーション・ポータブル・プラスと BMW ナビゲーション・ポータブル・プロは、いずれも BMW 車のコックピットの理想的な位置に装着できます。

各モデル専用設計の、安全テストをクリアしたカバー付きケーブルとホルダーによって、これらのナビゲーション・システムはデザイン面でも技術面でも、BMW ブランドの高い基準を反映した真に必要な機能を提供します。どちらのシステムも、オプションとして 2 次元表示または 3 次元表示の地図と音声案内機能を組み込むことができます。操作は 4.3 インチ高解像度タッチスクリーンで行います。また、ユーザーを目的地へ導く際には、交通情報チャンネル(TMC)で受信した最新の交通情報も考慮したルートを選びます。

完璧かつ長期間の保護性能:ナチュラル・ケア

新発売のカー・ケア製品「ナチュラル・ケア」は、サステイナビリティ(持続可能性)と環境に配慮しながら、洗車と保護を行うことができます。この製品ラインナップには、カー・シャンプー、カー・ポリッシュ、カー・ワックス、フロント・ウインドウ・クリーナー濃縮液、ガラス・クリーナー、インテリア・クリーナーなどが用意されています。

ナチュラル・ケア製品では、現在の技術で可能な最も広い範囲にわたって、天然成分や再生可能な原材料を使用しています。製品開発にあたってはさまざまな医学的検査を実施し、皮膚への安全性を実証しています。

BMW コネクテッド・ドライブによる未来のインフォテインメント・サービス: 「BMW アプリケーション・ストア」コンセプト

BMW コネクテッド・ドライブは、乗員と車両、そして外の世界をつなぐ画期的なサービスとテクノロジーを提供してきました。この BMW コネクテッド・ドライブによるもうひとつの注目すべきサービスとして、現在研究が進められているのが「BMW アプリケーション・ストア(BMW Application Store)」です。これは車両を最新かつ最高のレベルに個性化することを目指したサービスです。

このコンセプトの中で BMW は、車内と車外をつなぐネットワークを徹底的に強化することによって、個別のアプリケーションやソフトウェアをいつでもダウンロードしたりアップデートしたりする機会を提供することを目指しています。このサービスが実現すれば、車両の耐用期間全般にわたって、技術的に絶えず最新の状態を維持することができ、同時にドライバーの要望や好みに応じて個性化することも可能になります。

25 年の歴史を持つ BMW モバイル・サービス

お車が故障の際、世界最先端のアシスタンス・ネットワークを通じて多彩なサービスを提供することで、BMW グループはお客様に 24 時間 365 日絶えることのないモビリティを提供します。BMW モバイル・サービスは、ドイツをはじめとした世界各国で、正規の資格を得たスタッフによる適切なサポートを一元的に展開しており、その歴史は 25 年におよびます。

ミュンヘンのサービス本部に所属するスタッフはいずれも豊富な経験を積んだベテランのメカニックで、まずはできる限り短時間に、お客様自身に故障の状態を的確に把握してもらうことを目指しています。多くの場合、専門のスタッフによる適切なアドバイスがあれば、ユーザー自身の手で問題を解決し、再び旅を続けることができますようになります。こうしたアドバイスだけで解消できない場合には、十分なトレーニングを積んだメカニックがサービス・カーで故障現場へ出向き、必要な処置を施します。

BMW モバイル・サービスは、ヨーロッパの 19 カ国に加え、世界のほぼすべての国々で展開されているサービスです。シルバーとホワイトにカラーリングされた 830 台を越えるサービス・カーは、故障の現場がどこであろうと、BMW グループのお客様のために、世界の各地で絶えずサービスを行っています。